

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成28年9月23日 (2016.9.23)

【公開番号】特開2016-26890(P2016-26890A)

【公開日】平成28年2月18日 (2016.2.18)

【年通号数】公開・登録公報2016-011

【出願番号】特願2014-180633(P2014-180633)

【国際特許分類】

B 2 6 D 3/28 (2006.01)

B 2 6 D 7/22 (2006.01)

A 4 7 J 43/20 (2006.01)

【F I】

B 2 6 D 3/28 6 1 0 R

B 2 6 D 7/22 A

A 4 7 J 43/20

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月5日 (2016.8.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

機台上部の丸刃支持部に回転可能に支持された丸刃と、丸刃の回転面に前端面を沿わせつつ左右方向に往復移動する肉箱と、肉箱の前端面を覆い、且つ、丸刃側側端面を丸刃の外周に沿わせた形状とした当て板とを有し、丸刃支持部の当て板側側面に、丸刃カバーが丸刃支持部に取り外し可能に設けられた食肉スライサーにおいて、丸刃カバーの丸刃側端面から丸刃の刃先近くまで当て板側の丸刃表面を覆い、且つ、先端を丸刃表面に近接乃至は接触させた刃面カバーを、丸刃カバーから延設させたことを特徴とする食肉スライサー。

【請求項 2】

前記刃面カバーとの間にスライス肉片が排出される間隙を保って丸刃の刃先周辺を覆う刃先カバーを当て板の丸刃側端部から延設させたことを特徴とする請求項 1 に記載の食肉スライサー。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

又、前記刃面カバーとの間にスライス肉片が排出される間隙を保って丸刃の刃先周辺を覆う刃先カバーを当て板の丸刃側端部から延設させる。